

基調講演
今、生活に結びつく新しい科学が始まっている

NPO 法人科学と市民社会のコミュニケーション
女子高校生ジュニア科学塾 2008 in 関西

理事長 北浜榮子<<http://scoms.jp/>>
office@scoms.jp (担当: 渡辺)

事業概要

3月15日、16日に、大阪大学吹田キャンパスで、女子高校生80名と教師・親15名を対象に1泊2日の科学塾を実施する。1. 様々なイベントに参加することによって科学分野への興味を高める 2. 実験に対する主体的な取り組みによって理解が深まる経験をさせる 3. サイエンスカフェ形式の発表コンペを通じて、伝えることの重要性を認識させる 4. 女性研究者や大学生との交流を通して理系進学後の具体的なイメージを持たせる 5. 音楽と科学の関係など広い視野で科学をとらえる力を養う 6. 親や教師にも参加してもらうことで、女子高校生の理系進学に対する理解者を増やす、ということを目指す。

写真は昨年のジュニア科学塾の様子



独立行政法人 国立女性教育会館 (NVEC)

平成19年度 女子高校生夏の学校 ～科学・技術者のたまごたちへ～

責任者：国立女性教育会館理事長
神田 道子
連絡先：〒355-0292
埼玉県比企郡嵐山菅谷 728
Tel：0493-62-6711

一緒に夢を描こう！

本事業は、文部科学省平成19年度女子中高生理系進路選択支援事業として、文部科学省、独立行政法人国立女性教育会館、男女共同参画学協会連絡会、日本学術会議科学と社会委員会科学力増進分科会が主催として実施している事業であり、平成17年度から3年間の実績を有しているものである。

企画・実施を学生、男女共同参画学協会連絡会加盟団体正会員、高校教諭、国立女性教育会館職員等から構成する実行委員会が担当し、学協会連絡会関係者や学生ティーチングアシスタント等の幅広い支援を受けて、平成19年8月16日(木)～18日(土)の2泊3日の日程で、国立女性教育会館を会場として実施し、全国の女子高校生110名の参加を得た。

1日目は講演とパネルディスカッション、スタッフへのインタビューを含むアトラクションを実施した。2日目は11種類の実験・実習から2つを選択して体験したほか、19の学協会によるポスターセッションとキャリア相談、懇親会等を実施した。3日目はグループ対抗サイエンスカルタ大会と、事業のまとめとして、参加者各自が記入したチェックリストを基にスタッフと将来の進路を相談する「ゲイトウェイ・デスク」を行った。

プログラム終了後、理工系分野への進学・就職に活かせる女子大学生・高校生間等におけるネットワークが作られている。また、スタッフである連絡会加盟学協会正会員のプロフィール集を配布し、専門家へのアクセスを確保した。さらに、現在の学生スタッフには、高校生のときに本事業に参加して理系学部・学科に進学し、本事業に協力するという繋がりも生まれている。

実施期間中は、女性を大多数としたスタッフと本事業参加の女子高校生との間に多様な接触の機会を持つ配慮がなされており、理工系への進学、学生・社会人としての生活や仕事についての豊富な情報が、スタッフから高校生に伝えられたのも本事業の大きな特徴である。



実験・実習



学協会のポスター発表



ゲイトウェイ・デスク